

第二十一回帝國議會 院 鐵道抵當法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治三十八年二月二十四日午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 望月 右内君 毛里 保太郎君 恆松 隆慶君
- 長 晴登君 福岡 精一君 安念次左衛門君
- 板東 勘五郎君 安達 謙藏君 東尾 平太郎君
- 神崎 東藏君 佐竹 作太郎君 松本 恆之助君
- 岡田 治衛武君 奥田 義人君
- 出席國務大臣左ノ如シ
- 遞信大臣 大浦 兼武君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 法制局長官法學博士 一木喜徳郎君 遞信省鐵道局長 山之内一次君
- 法制局參事官 吉村源太郎君 大藏省參事官 塚田達二郎君

鐵道抵當法案(政府提出貴族院送付)

○委員長望月右内君 ソレデハ是ヨリ委員會ヲ開キマス

○板東勘五郎君 當局大臣ニ一應御尋ネテ致シテ置キマスガ、本案ニ對シマシテハ昨日マデニ段々質問ヲ遂ゲマシテ、詳細ノ御説明モ承リマシタガ、何分此法案ハ新ニ出來ルトコロノ問題デゴザイマシテ、實行上ニハイロク、差支ナリ種々ノコトガ現ハレテ來ヤウカト吾々モ信ズルデアリマス、又政府ノ法案ヲ制定セラレマシタコロニ於テモ、成ルベク實行上ニ便宜ヲ與ヘルト云フ御精神デアラウト思ヒマスガ、尙將來ニ於キマシテ十分ニ調査ヲ遂ゲラレ、時ニ依テ増補改正シテ、此法律案ノ目的ヲ完全ナラシムルト云フ御考ヲ有サレテ居ル譯デアリマセウカ、多分其邊ハ贊否ヲ決スル上ニ於キマシテ、參考トモナリマスノデ、一應承ハッテ置キタイ

○遞信大臣大浦兼武君 唯今板東君ノ御質問デゴザイマスガ、全体此法案ハ先日モ述ベマシタ通り私設鐵道法ニ於テ抵當トナスコトガ出來ヌトコロガ、何分一纏メニシテ抵當トナシテ金ヲ借リルコトガ出來ナイト云フモノデアルカラ、今度特ニ之ヲ拵ヘテ、而シテ鐵道ノ發達ヲ圖リタイ精神デゴザイマスカラ、御承知ノ通り始メテ斯ノ如キ法律ガ日本ニ出來ヌノデゴザイマシテ、斯ノ如キムツカシイ法律デアル、ソコデ政府ニ於テモ數十日研究シテ、之ヲ拵ヘテ、今般ノ議會ニ出シタ譯デゴザイマス、然ルトコロ何分百箇條ニ近イトコロノ法律デアッテ、悉ク此法律社會ノ關係ノ深イモノデアルカラ、唯今出シタトコロノ法案ハ、之ヲ持ッテ往ケルト信ジマスケレドモガ、之ヲ實行シテ見テドウシテモ斯ウ云フ箇條デアハイケナイト云フヤウナコトガアル以上ハ、政府ハ固ヨリ私設鐵道會社ノ便利ヲ圖リ、且國家ノタメニ鐵道ノ發達ヲ圖ラウト云フノデアルカラ、必ズソレヲ研究シテ修正スベキハ修正致シタイト云フ考デゴザイマス、左様御了承ヲ……

○恆松隆慶君 此法案ハ頗ル重大ナ法案デゴザイマス、斯ノ如キ法律ニ於キマシテハ、最モ又可トスベキ案デゴザイマスガ、併シ是等ノ澤山條項ノアルコトニ付キマシテハ十分昨日モ奥田君ノ如キ法律家ナリ、又板東君ノ如キ經驗家ナリガ、斯ウ云フ黒人ノ御方ガ、モウ逐條ニ質問モナサレ、又政府委員モ懇切ニ是ニ應對ヲナサレタ次第デゴザイマスカラ、モウ審査ノ上ニハ誠ニ精密ニ、親切ニ、ハヤ審査モ致シマシタ、然ルニ多少之ニ修正デモシタイ箇條ノナイト云フコトモゴザイマスケレドモ、唯今板東君ノ御尋當局長大臣ガ懇切ナ御答ガゴザイマシテ、之ヲ實施シタ以上テ、不都合ト認メル廉ヲ發見シタ以上ハ、進ンテ政府トシテモ此改正ヲスルト云フコトニ御同意デゴザイマスカラ、之ヲ信ジマシテ此儘デ……若又字句ノ修正ヲ杯フシテ、兩院ニ又煩ハシクナルコトハ、甚ダ好マシカラヌコトト思ヒマス、全部ヲ皆全會一致デ以テ一ツ御協贊ヲ與ヘルト云フコトニナランコトヲ希望致シマス

○奥田義人君 本案ニ付キマシテハ段々前會以來質問モ致シマシテ、殆ド諄イマデニ御説明モ願ヒマシテ、稍々了解ヲ致シマシタ點モアリマスルシ、又或ハ茲ハ斯ウモナッタラ、ドウデアラウト思フヤウナ點モ多少アリマスル、サリナガラ何分會期モ切迫シテ居ル今日ノコトデアリマスカラ、今之ヲ以テ些々タルコトデモイザルト云フコトニナリマスルト云フト、ソレガタメニ却テ全案ヲ潰シマシマハナケレバナラヌヤウナ不幸ヲ見ナイトモ言ヘマセヌ、ソレ故ニ私モ丁度今恆松君ノ述ベマシタルガ如ク、先ア此場合ニ於テハ貴族院ノ修正通りニ同意ヲ表シテ置イテ、而シテ實施ノ上テ段々不都合ナリト認メル點ハ、政府ニ於テモ、改正ニナルコトヲ各々ヌト云フ、今遞信大臣ノ御説明デアリマスシ、又議院ノ方デモ不都合ナト思フコトハ改正案ヲ提出シテモ、差支ナイコトデアリマスカラ、兎ニ角今日ノ場合ニ於テハ已ムヲ得ナイモノトシテ、此全軀ニ委員會ハ同意ヲ表スルト云フコトニシタイノデアリマスル、サリナガラ唯一ツ懸念ニ思ヒマスルノハ、此修正案ノ第二十六條ノトコロデアリマス、二十六條ニ「二十箇年又ハ据置年限ヲ經過シタルトキハ抵當附債務ヲ辨スルコトヲ得」ト、斯ウアリマスル、此二十箇年ニ修正ニナリマシタト云フモノハ、前會モ述ベマシタ通りニ大變ニ宜シイト思フ、處ガ此据置年限ト云フコトハ、解釋ノシヤウニ依リマシテハ、動モスルト資本ヲ下ス者ガ、不安ノ念ヲ懷イテ、例ヘバ契約ニ三年ナラ二年ノ元本ヲ据置イテ置イテ、ソレカラ二年以後ニ漸次消却スルヤウナ契約デモ出來テ居リマストキニハ、其三年ヲ經過シテシマフト、直チニ政府ハ其債務ヲ返濟シテシマフトガ出來ルヤウニ、ドウモ之ガ見エルデアリマス、サウスルト多クノ資本ヲ下ス者ガ、大變不安ノ念ヲ懷クヤウナ眞レガアルヤウデアリマスルカラ、此据置年限ト云フモノハ、即チ元本ノ償還期限ヲ意味シタモノデアルト云フヤウナ解釋ヲ細則デ、モ御設ケニナルト云フコトガ出來得レバ、資本ヲ下ス者ニ取ッテハ、大變安心ヲシテ都合ガ好カラウシ、又二十年ト修正ヲセラレマシタ趣意トモ能ク合フヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、其邊ハ政府ニ於テハ如何ナモノデアリマセウガ、御同意下サレバ本案ノ運用上ニ大ナル便利ヲ感ズルト、自分ハ確ク信ジマス

○政府委員一木喜徳郎君 唯今奥田君ヨリ御尤モナル御氣付キガゴザイマシテ、政府ニ於キマシテモ、同シヤウナ考ヲ持ッテ居リマスル、イッレ此法ハ大キナ法テ、殊ニ新シイ法デモゴザイマスル、是ニ付イテハ施行ノ命令ヲ出シマスル必要ガアラウト思ヒマス、其施行命令書ニ於キマシテ、唯今御話シノ如キ二十六條ノ据置年限ニ關シマスル規定ノ適用ヲ明カニ致シマシテ、資本ヲ入レマスル者ニ不安ノ念ヲ與ヘナイヤウナ規定ヲ設ケマスル考ヲ居リマスル、奥田君ノ御注意ニハ全ク同感デゴザイマス

○奥田義人君 既ニ政府ニ於テ其點ニ御同意ニ相成リマシタ以上ハ、全部此修正案通りニ私ハ同意ヲ表シマス、採決ヲ願ヒマス

(「贊成々々」ト呼ブ者アリ)

○長晴登君 私ハ昨日參リマセメデシタカラ、能ク分ラズニ居リマシタガ、或ハ重ナツタ質問ニナルカモ知レマセヌガ、此修正ノ第七十條ノ第二項デゴザイマスガ、此第二項ノ場合ガアルマイトハ思ヒマスルケレドモ、若シアツタスレバ是ハ鐵道ト云フモノ、目的ヲ達セヌコトニナツテ、諸リ鐵道ノ運用ヲ中止シテ廢メテシマフコトガアルノデゴザイマスルガ、此場合ニ於テハ既ニ地所ノ如キモノハ前ニ收用ノ規定ニ依ッテ、收用シタルモノハ、前持主ニ返ス、向フガ請取ラヌト云フナラバ、會社ガ自分ノ意思ヲ以テ處分スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルガ、今此第二項ノ場合ニ於テハ、土地ノ如キモノハ、サウニ云フ手續ハ特別法トシテ、土地收用法ノ規定ノ方ハ用井ズシテ、之ニ依ッテ前持主ニ關係ナリ競賣ニ付スルコトガ出來ルト云フコトニナルノデゴザイマスガ

○政府委員一木喜徳郎君 其鐵道會社ノ持ッテ居リマス土地ニ付キマシテハ、買戻權ノ附イタモノモアラウト思ヒマス、併シ其買戻權ノ附イテ居リマスモノハ、其附イタ儘財團ノ中ニ這入ッテ居リマスノデアリマスカラ、會社ノ土地ヲ競賣ニ付スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、畢竟買戻權ノ附イタ土地ヲ賣ルコトニナリマス、其場合ニ於テ收用法ニ依リマスルトコロノ買戻條件ガ充タサレテ居ル場合ナラバ、元トノ買戻權ヲ實行スルコトガ出來ルト思ヒマス、買戻權ノ方ハ此規定ニ依ッテ妨ゲラレナイ考デアリマス

○委員長望月右内君 ソレデハ採決致シマスルガ、全部一括シテ可認スルト云フコトニ別段ノ御異存ハナイト思ヒマス——ソレデハ貴族院ノ修正決議ノ通り全部可認スルト云フコトニ一致ヲ以テ決シマシタ、決議ノ次第八議長ヘ報告致シマス、本會ハ是デ閉會致シマス

午前十時四十三分散會